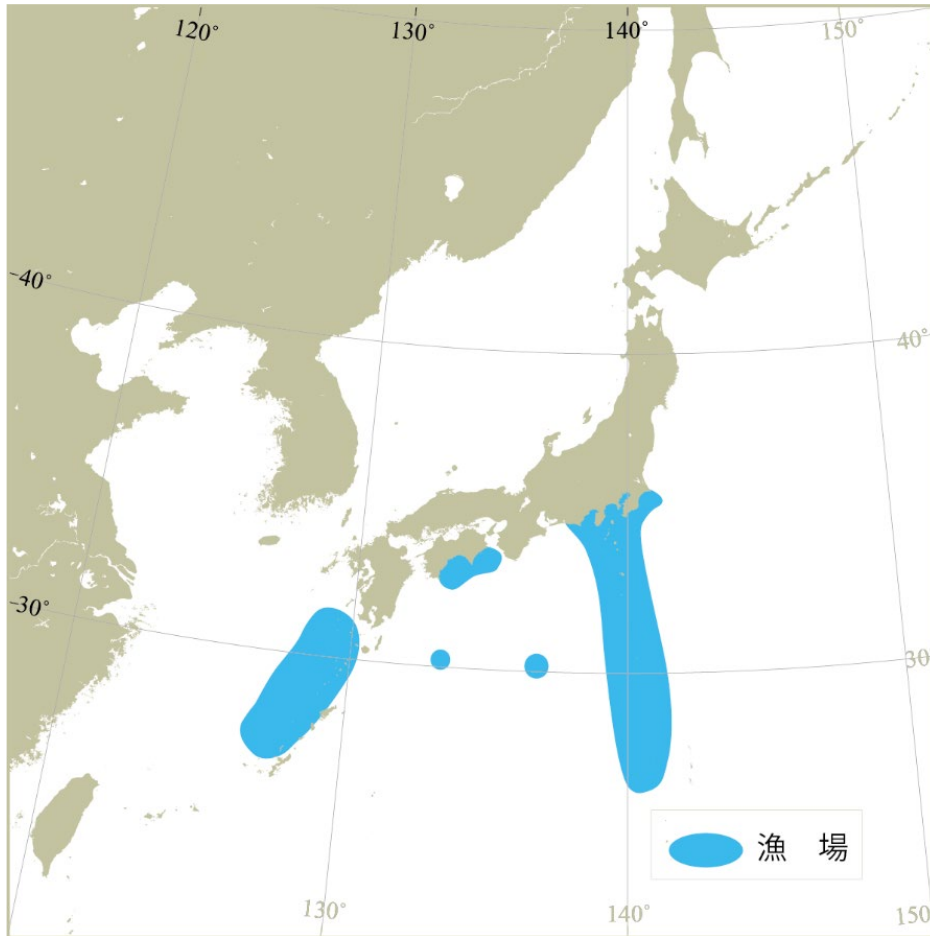




キンメダイ太平洋系群 令和3年度資源評価結果

生物学的特性

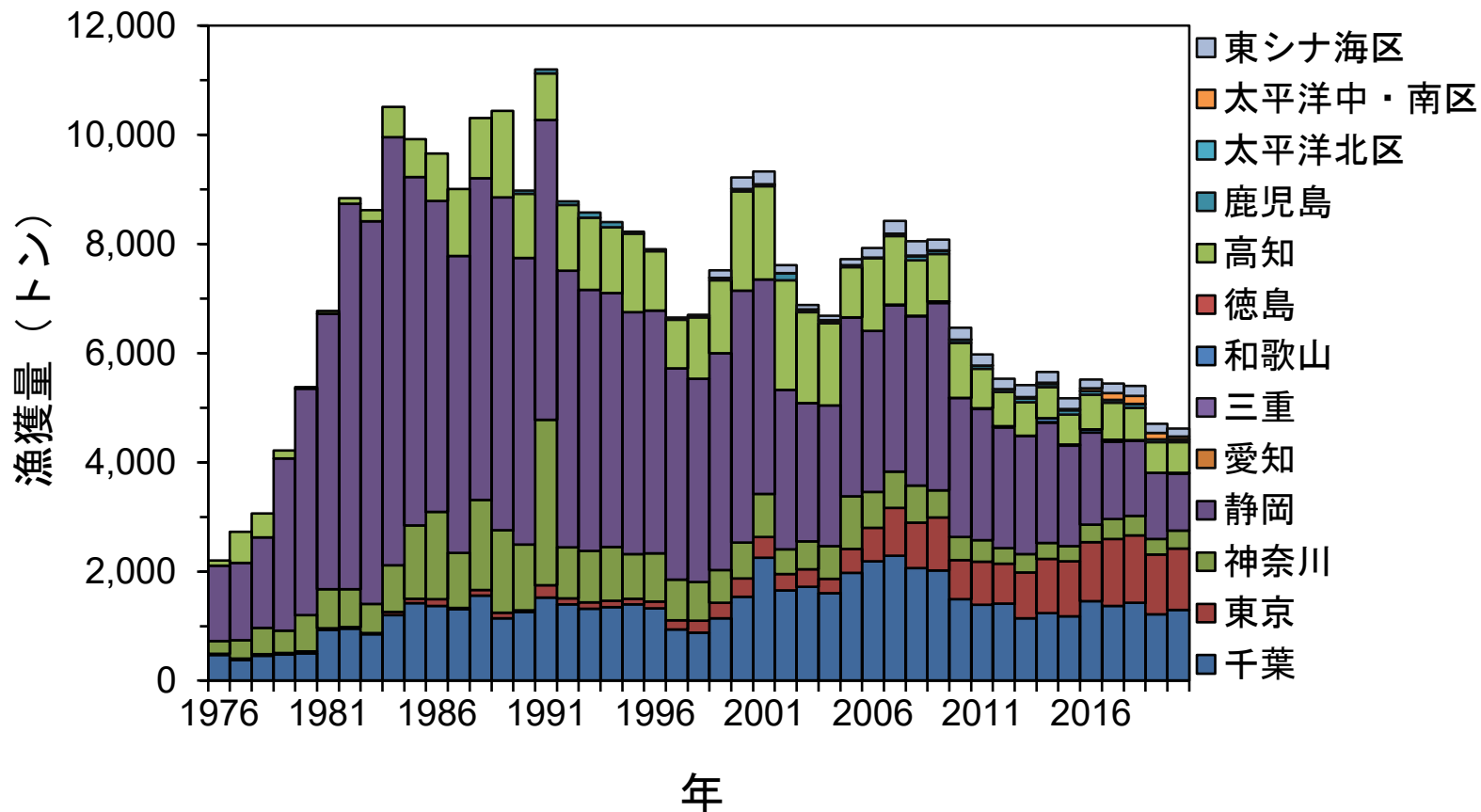


生物学的特性

- 寿命：26歳以上
- 成熟開始年齢：
4歳(50%)、5歳(100%)
- 産卵期・産卵場：
6月～10月で盛期は7月～8月、関東沿岸、伊豆諸島周辺海域、四国沖、南西諸島周辺海域、小笠原周辺の広範囲
- 食性：
ハダカイワシ類などの中深層性魚類、イカ類、エビ類、オキアミ類など
- 捕食者：サメ類、イルカ類

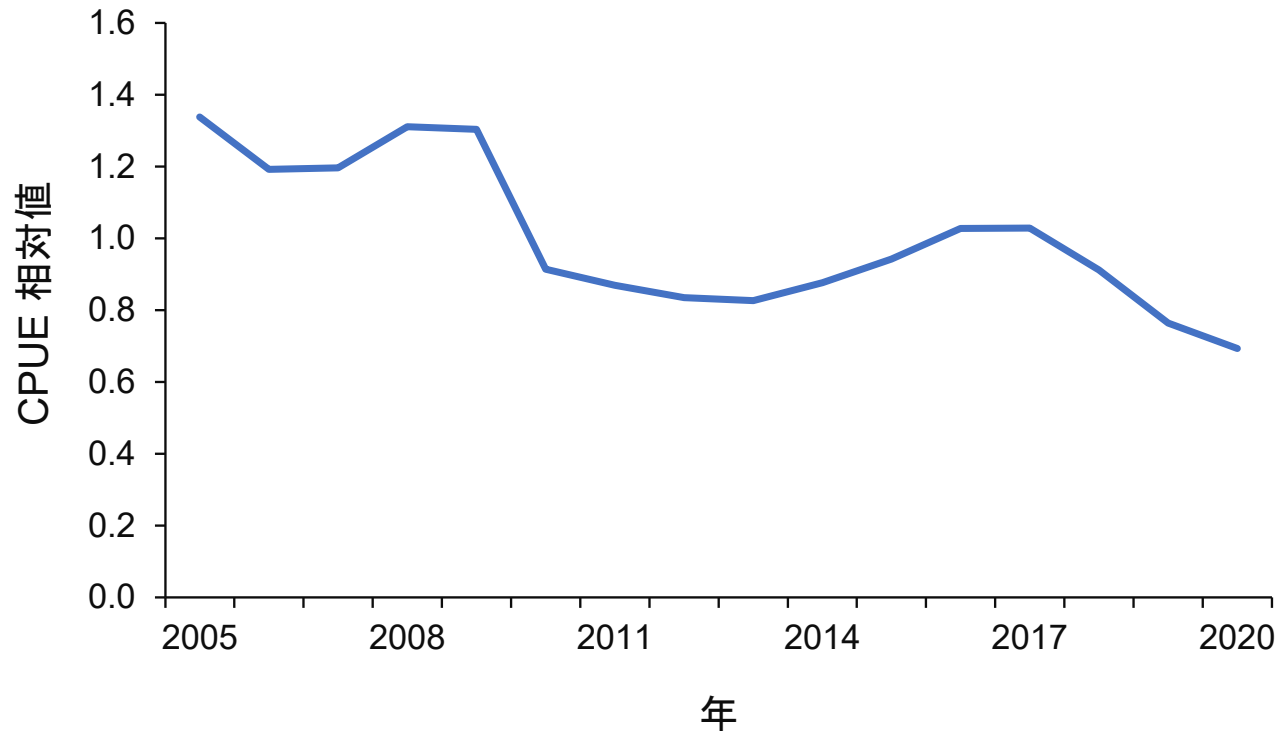
- 陸棚斜面、海山や海丘の斜面や頂上に多く分布
- 房総半島から南西諸島に至る太平洋岸、伊豆諸島、沖合の海山周辺に漁場が点在

漁獲の動向①



- 主に立て縄、底立てはえ縄、樽流し等釣漁業で漁獲
- 2020年の漁獲量は4,617トン
- 関東沿岸から伊豆諸島周辺海域(千葉県、東京都、神奈川県、静岡県：一都三県)の漁獲量は3,797トン₃

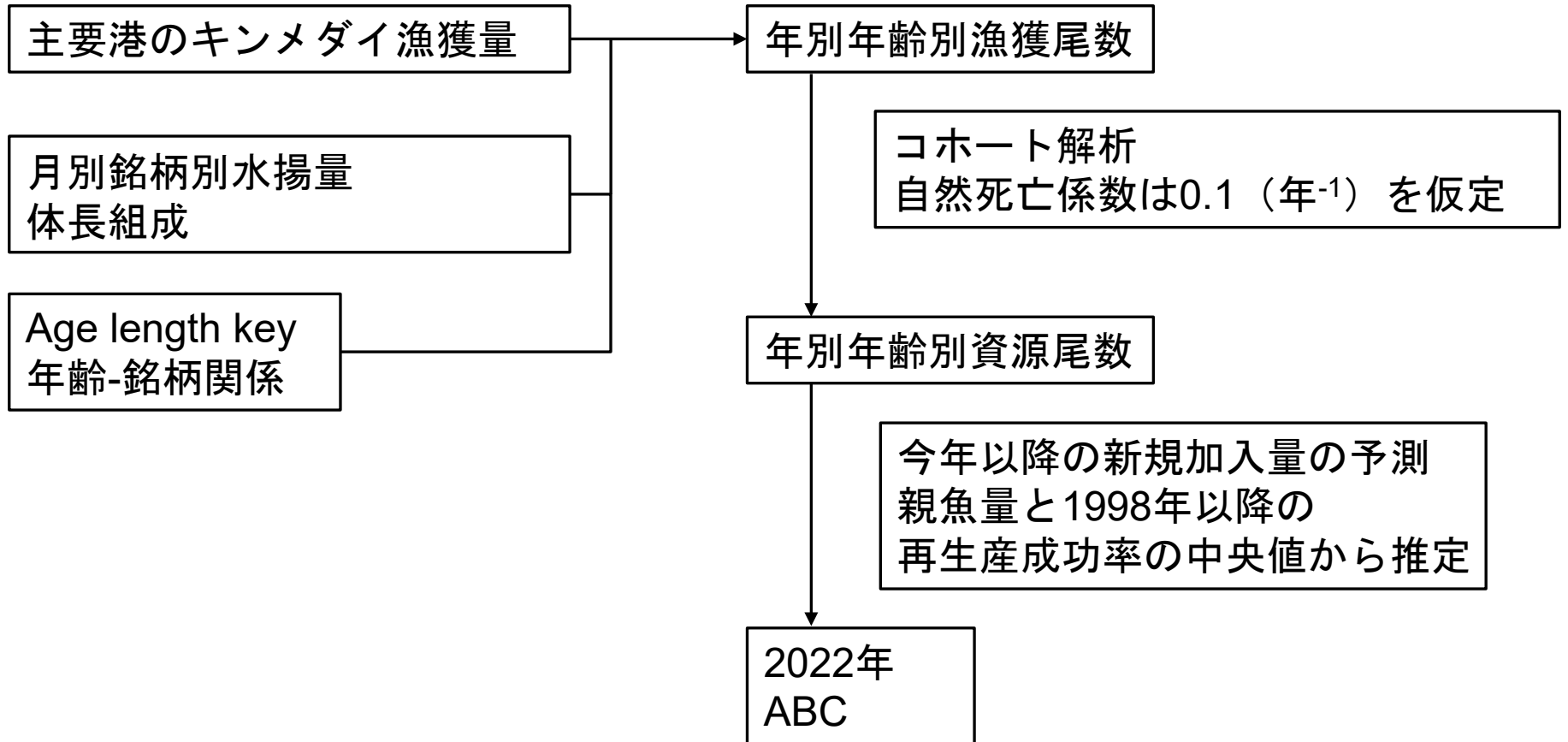
漁獲の動向②



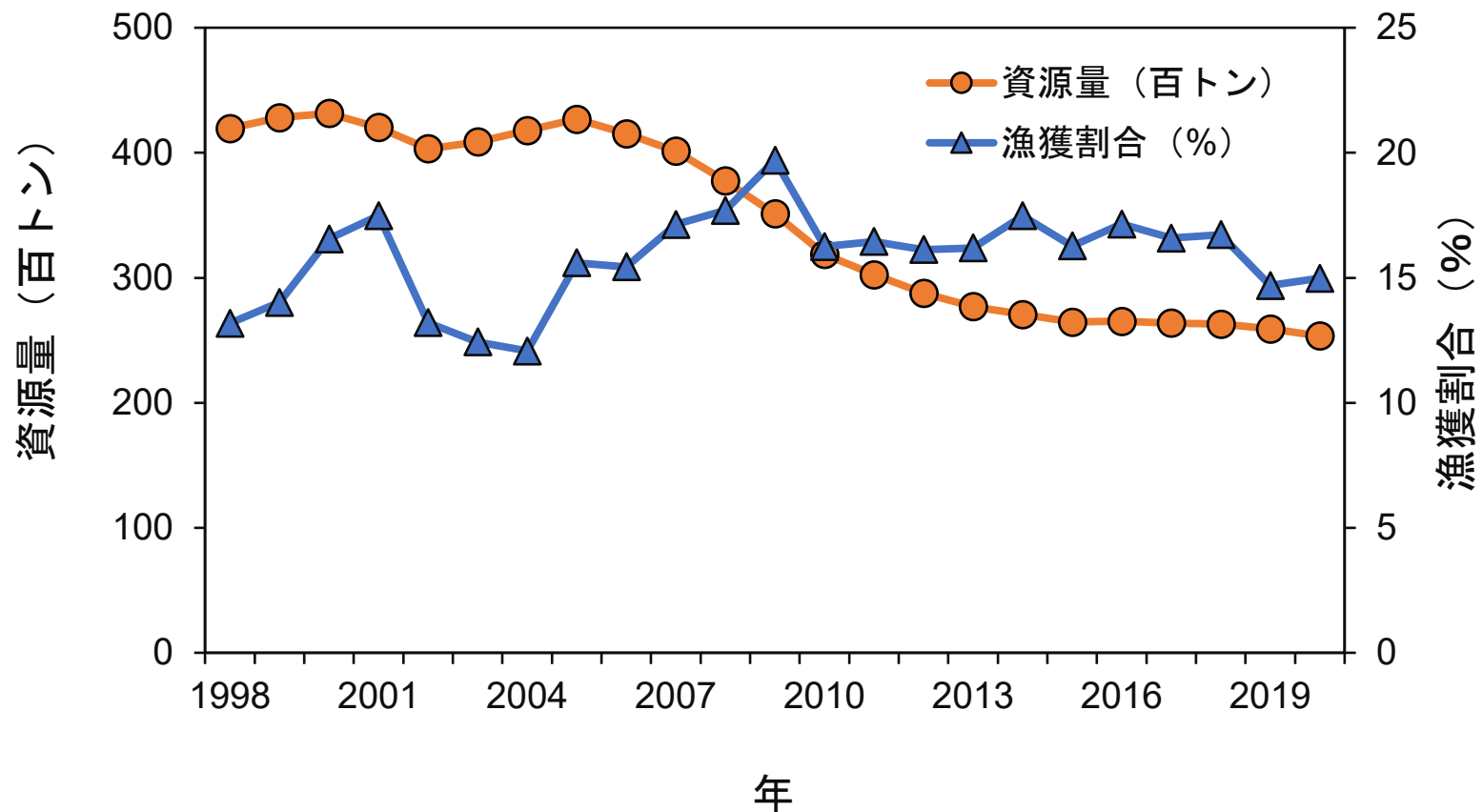
- 一都三県の立て縄漁業による水揚港8地区のCPUE
： 2005年以降減少傾向にある

※CPUE：立て縄漁業の1航海あたりの漁獲量

資源評価の流れ

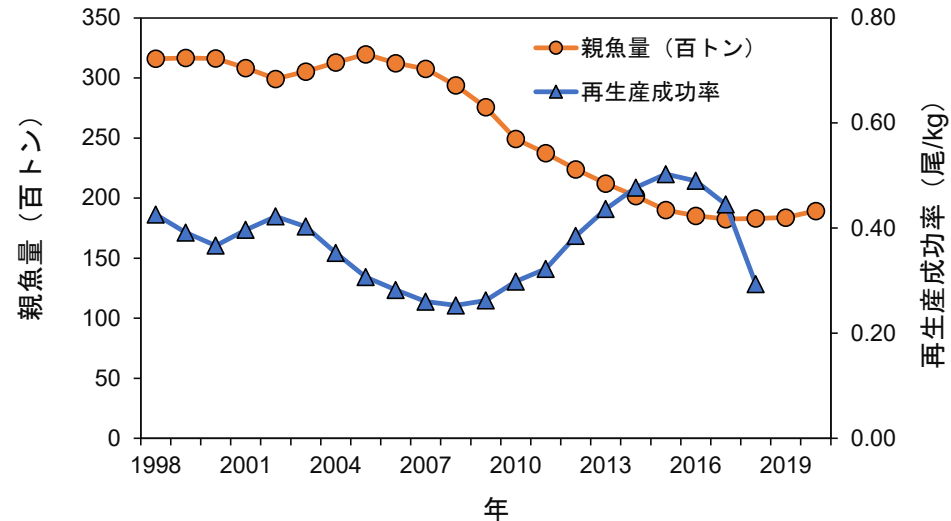
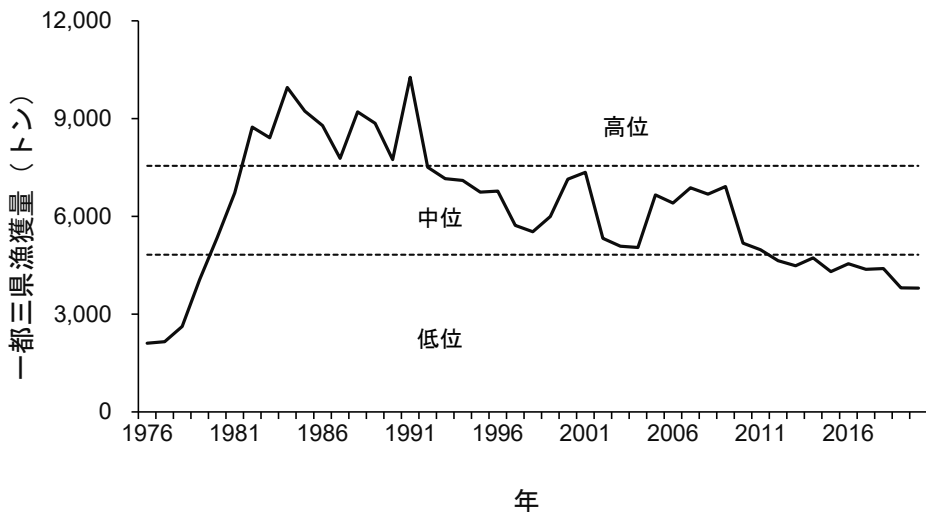


資源の動向①



- 資源量： 2020年は2.53万トン
- 漁獲割合(漁獲量÷資源量)： 12～20%で推移している

資源の動向②



※水準区分 低位／中位：漁獲量の最高～最低値の下位3分の1に相当する4,828トン
 中位／高位：漁獲量の最高～最低値の上位3分の1に相当する7,550トン

- 資源水準：2020年の漁獲量は3,797トンであり、4,828トンを下回ることから「低位」
- 親魚量：2020年は1.89万トン
- 再生産成功率：2015年前後に一時的に増加
- 資源動向：直近5年間（2016～2020年）の親魚量の推移から「横ばい」

資源評価のまとめ

- 資源量指標値を考慮したコホート解析により計算した
- 2020年の資源量は2.53万トン、親魚量は1.89万トンと推定された。親魚量は横ばい傾向と判断された
- 一都三県の漁獲量の推移から、現在の資源水準は低位と判断された

2022年ABC

管理基準	Target/Limit	2022年漁期ABC (百トン)	漁獲割合 (%)	F値 (現状のF値からの増減%)
0.8Fcurrent	Target	25	10	0.12 (-36%)
	Limit	30	12	0.15 (-20%)

- 0.8Fcurrent : 減少傾向にある親魚量を増加に転じさせるため、現状の漁獲圧を削減した漁獲シナリオ